

# 医療・がん保険 編

## 医療保険は費用補てん というより安心の問題

損得勘定でみれば  
加入しないという選択肢も

- A** 医療保険は市場競争が最も激しい分野で、そこまで悪い商品というものもないんですよ。
- C** 三大疾病の保障を手厚くした商品設計はどこも似たり寄ったり。ただ、強いていうと医療保険でがんの診断給付金特約をつける人も増えたので、がん保険を単体で検討する人は減っていくかも。
- B** がん保険は診断給付金の給付回数が多い、というのには厳しいかもね。20年くらい保険料を払ったら払込保険料の総額のほうが上回る可能性もあるでしょう。診断給付金だけが保障ではないけど。
- A** 個人的には医療保険自体も評価していません。治療費が高額になるケースもある三大疾病の一時金と、先進医療特約目当てなら選択肢に入れた方がいいかな、という程度。健康保険と高額療養費制度があるので、それを踏まえて

保険で備える必要があるのか  
という疑念がやはり拭えない。

- C** 医療保険不要論は業界でも多いですね。毎月4000円の保険料を掛け捨て払うなら、貯蓄で備えたほうが合理的という考えでしょう。
- A** ただ保険は相互扶助で損をする人が多いから成り立っている前提があるのでね。どうしても損をしたくないなら、それこそ東京海上日動あんしん生命『メディカルKit R』のような商品を選べば良い。
- B** 戻ってくるのは給付金を差し引いたお金だから、自分で

### 医療・がん保険ランキング

- 1位** アフラック 『新生きるためのがん保険Days』  
がんの診断一時金は無制限とする商品が多いなか、特約を付加しないと1回だけというデメリットを指摘する声が多かった。
- 2位** ソニー生命 『終身がん保険』  
死亡保障が付いているため、保障内容は一般的ながん保険だが保険料水準が高め。低解約返戻金特約をつけても保険料はなお高い。
- 3位** 東京海上日動あんしん生命 『メディカル Kit R』  
保険料が所定の年齢になると戻ってくるのが特徴。「貯蓄ができない人には魅力」という声もあるが、「保険といえるのか」との意見も。
- 4位** アクサダイレクト生命 『アクサダイレクトのがん終身』  
診断給付金が1回、がん先進医療給付金が500万円までしか出ない、保険料払込免除特約がない点で減点。



治療費を支払っているのと同じという声もあるけどね。  
C 掛け捨て嫌いの日本人の心理をうまく突いてますね。



販売員が暴露

## 医療・がん保険の落とし穴

**1** そもそも高額療養費制度でカバーできる

※標準報酬月額28～50万円、70歳未満の場合

治療費合計100万円

高額療養費制度の支給 21万2570円

健康保険 70万円

自己負担 8万7430円

ほとんどの公的保障でカバー

医療保険の加入を検討する前に、まず高額療養費制度の範囲を知っておきたい。100万円の治療費がかかっても、7割は健康保険でさらに約21万円が戻ってくる。

**2** がん保険は診断給付金1回は物足りない

月払保険料4000円の場合

払込保険料 25年で120万円

診断給付金 1回100万円

加入者負担 保険会社負担

ほづが少額

毎月の保険料が4000円の場合、25年間で支払う総額は120万円。診断給付金が100万円1回のみ給付だと、保険料の方が高い。

**3** 持病があっても入れる保険は高い

オリックス生命	
引受基準緩和型医療保険 新キュア・サポート	医療保険 新キュア
月払保険料※ 3125円	1842円

告知や加入要件のハードルが低い引受基準緩和型といわれる保険は、通常タイプと比べて保険料が高い。保険で備えるか、それとも貯金で治療費などの損失をカバーするか加入前に今一度検討したい。

※入院給付金日額5000円、35歳男性、終身払い、基本プラン、先進医療特約付きの場合